

平成 29 年 8 月 22 日

吉川福祉専門学校
校長 久田 晴 實

平成 28 年度学校関係者評価報告書の公開について

平成 28 年度自己評価報告書に対する「平成 29 年度第 1 回発行関係者評価報告書」を公開します。

平成 29 年 8 月 1 日

吉川福祉専門学校
校長 久 田 晴 實 様

吉川福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 飯 田 里 子

学校関係者評価委員会報告

平成 29 年度第 1 回学校関係者評価委員会において実施した「平成 28 年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員名簿
委員長：飯田里子委員 副委員長：橋本かおり委員
①小潟竜一（特別養護老人ホーム吉川平成園 介護課長）
②橋本かおり（特別養護老人ホーム越谷なごみの郷 施設長）
③飯田里子（介護老人保健施設老健ねぎしケアセンター 事務長）
④鈴木真一（介護老人保健施設三郷ケアセンター介護職員 卒業生）
⑤岡 雅昭（埼玉県立三郷高等学校 校長）
- 2 学校教職員（陪席）
①久田晴實（吉川福祉専門学校 校長）
②池上千恵美（ ” 教務部教員）
③一郎丸恵一（ ” 事務長）
④山本晃市（ ” 事務長代理）
- 3 学校関係者評価委員会の開催状況
日 時：平成 29 年 6 月 28 日（水）9 時 00 分～10 時 40 分
会 場：吉川福祉専門学校 演習室
参加委員：学校関係者評価委員 5 名、学校教職員 4 名（陪席）
- 4 学校関係者評価委員会報告
別紙 1 「平成 29 年度第 1 回学校関係者評価報告書」のとおり

以上

平成 29 年 8 月 1 日

平成 29 年度第 1 回学校関係者評価報告書

開会

一郎丸恵一事務長の発声により、第 1 回学校関係者評価委員会が開会された。

1 委嘱状の交付

一郎丸恵一事務長より各委員に対して委嘱状の交付がなされた。

2 委員の紹介

一郎丸恵一事務長より各委員の紹介がなされた。

3 校長挨拶

久田晴實校長より、本委員会の開催に当たり来校いただいた各委員に対するお礼と、本校の概要説明、活発な意見をいただきたい旨の発言があった。

4 議長選出

一郎丸恵一事務長より、本委員会の議長（委員長）として飯田里子委員を、副議長（副委員長）として橋本かおり委員を指名する旨の発言があり、各委員の挙手により議長と副議長として選出された。

5 協議事項

（1）平成 29 年度教育活動の重点目標

久田晴實校長より、広く深い知識理論、専門性の高い実践技術をしっかりと身につけ、人権意識、倫理観を持つ人間性豊かな介護福祉士を育てることを教育理念とし、知識理論・実践技術・職業倫理観・成長する介護福祉士を教育目標に、今年度の卒業生から介護福祉士国家試験が義務化されたことに伴い、全員が在学中に国家試験に合格できるよう全力で努力していきたい旨の発言があった。

また、平成 29 年度の重点目標と達成計画について、5 つの重点目標と達成計画・取組方法についての説明がなされた。

橋本かおり副委員長より、達成計画の学びの継続・深化について、障がい者の生活支援の学び改善が計画されているが、具体的な取り組み方法等についての質問がなされた。

久田晴實校長より、授業科目「生活支援技術Ⅱ（住居）」の中でも障がい者の生活支援について触れてもらっているが、他の授業においても取り組んでもらう余地はまだある旨の回答がなされた。

池上千恵美教員より、授業科目「障害の理解Ⅰ」「障害の理解Ⅱ」の中で障がい者の生活支援に特化した授業を実施していること、また将来的には特別支援学校などとの関わりを強化し、高齢者と障がい者とでは関わり方が違うことを学生に実感（実際に触れ合える）させることが大切になってくる旨の発言がなされた。

飯田里子委員長より、障がい者の受け入れ先施設が少ないことも課題のひとつだが、学生には高齢者だけでなく障がい者施設に就職することも視野に入れて授業に取り組んでもらいたい旨の発言がなされた。

橋本かおり副委員長より、障がい者と介護保険の問題があるため支援方法なども難しい旨の発言がなされた。

小瀧竜一委員より、高齢者支援と障がい者支援は全く別物なので、学校で高齢者支援と障がい者支援を分けた取り組みをされるのはいい考えである旨の発言がなされた。

久田晴實校長より、卒業生の就職先に少しずつですが障がい者施設も増えてきている現状を踏まえて、皆さまから頂戴したご意見を今後の学校運営に生かしていきたい旨の発言がなされた。

(2) 平成28年度自己評価報告書の説明

久田晴實校長より、平成28年度自己評価報告書についての報告がなされた。

①学校の理念、教育目標

今井佳江前校長の下、方向性を持った介護福祉士養成を継続している。

評価結果：教育理念、教育目標は妥当であり、おおむね適切であると言える。

②平成28年度重点目標と達成計画

介護福祉士国家試験取得のための個別指導にも力を入れてきた。

評価結果：重点目標と達成計画・取組方法は適切である。

③評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

平成28年度より職業実践専門課程として認定され、職業に必要な

実践的かつ専門的な能力をさらに育成し、職業教育の水準の維持向上に努めてきた。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準2 学校運営

平成28年度より校名を吉川福祉専門学校に改め、定員を60名から40名に変更し校舎も移転した。学校の新規事業としては、第1回学校祭（吉福祭）、合同就職説明会、防災避難訓練等を実施。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準3 教育活動

教育課程編成委員会を年2回実施。4月当初に非常勤講師との意見交換を含めた講師会を実施しているが、非常勤講師から多様な意見を求めるためには、講師会の開催時期の検討も必要である。また成績評価については、卒業学年は全員が全ての科目を履修し無事卒業した。1年生も全員が進級した。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準4 学修成果

平成28年度の卒業生27名に対して、就職者は26名、就職率は96.3%であった。今後は就職率のさらなる向上に加えて介護福祉士国家試験対策が重要となってくる。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準5 学生支援

平成28年度までに147名の卒業生を輩出、今後も高い専門性を持った介護福祉士を養成していきたい。また平成28年度は2名の退学者を出した為、より丁寧な学生対応を心がけていきたい。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準6 教育環境

現在72施設（事業所を含む）と実習委託契約書と締結している。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準7 学生の募集と受入れ

平成29年度の入学生実績は定員40名に対して22名。今後も入学生の確保が重要課題のひとつである。

評価結果：点検結果については妥当である。

基準 8 財務

評価結果：点検結果については妥当である。

基準 9 法令等の遵守

評価結果：点検結果については妥当である。

基準 10 社会貢献・地域貢献

評価結果：点検結果については妥当である。

全般に関する意見

入学生確保の観点からも、SNSを利用した広報活動は特に若い世代（高校生）にはとても効果的で、まず学校を知ってもらうことが大切である。また在校生の表情がとても明るく、今後も学生指導と学生支援に力を注いでいてもらいたい。